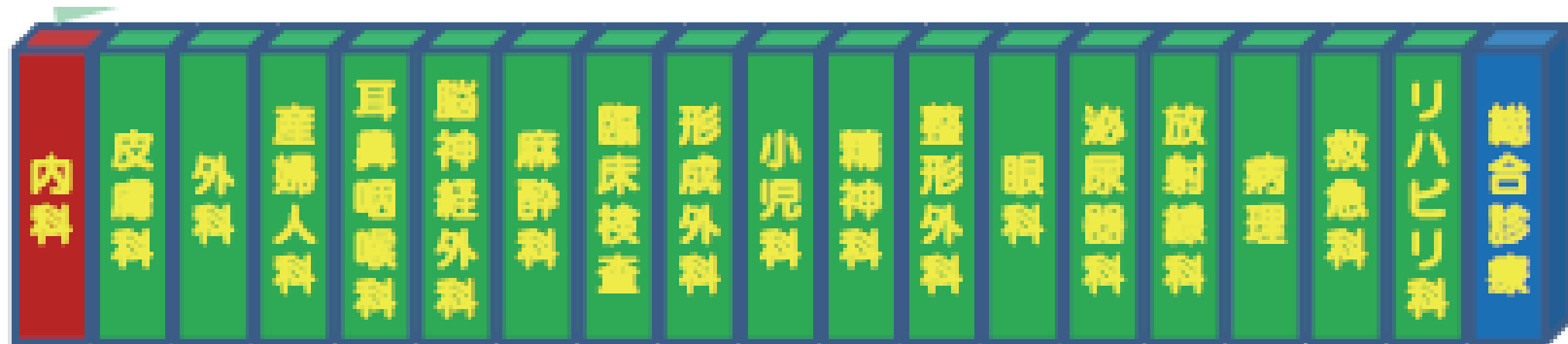


新・内科専門医制度

新内科専門医は19の基本領域専門医の一つ
従来の「内科認定医」と「内科専門医」が再び統合された



基本領域専門医（従来18基本領域の専門医制度と総合診療）

内科専門医を取得するには(基幹)研修病院において 以下を研修することが必須

必須履修項目(症例登録)

- 修了認定には、主担当医として3年間で内科全分野を **70 疾患群**に分類して、最低 **56 疾患群**の中から1症例以上受け持ち、計 **120 症例以上**を経験し登録(外来症例は 1 割まで含むことができる)
- 到達目標は**70 疾患群 200 症例**
- 初期研修医症例
 - 症例登録60症例、病歴要約14症例まで認められる

病歴要約提出

- **29症例**の病歴要約提出を行う
- Web登録:**J-OSLER**

JMECC

- **内科系ICLS研修**

中部ろうさい病院 内科専門研修プログラム



募集人員 7名

内科専攻医プログラム

中部ろうさい 定員 7名

- 基幹施設である中部労災病院において
- 専攻医1年次より原則12ヶ月全科ローテーション研修
 - 内科系6部門2か月(8週)x 6(バランス型の場合)
 - 消化器、循環器、呼吸器、代謝・内分泌、脳神経、腎臓・リウマチ膠原病
- 異動研修：連携施設における研修
 - 原則1年
 - 希望科研修

中部ろうさい病院プログラムの特徴①

- 志望科に加え、内科全般の臨床能力を育成します
『general な specialist を育成します！』
- 地理的に比較的コンパクトな範囲に連携病院を多数有し、それ以外の地域も連携病院があり、自由度の高い異動研修が可能です
- 関連大学は名古屋大学に加えて藤田医科大学、愛知医科大学とも連携します
- 労災病院グループの関東労災・旭労災・横浜労災などとも連携します。
- 多様な多数の連携病院があります(後述)

中部ろうさい病院プログラムの特徴②

- **各科ローテーションコース**と希望専門領域に重点をおいた**サブスペ重点コース**を選択可能とします
- 研修実績に基づき、同時に複数科症例を経験することにより、内科専門医取得に必須の症例経験を習得します
- 内科専門医研修中に経験した症例は将来選択するサブスペシャルティ領域の専門研修の症例としても認められます
- 初期研修中の症例も審査の上、内科専門研修症例として認定します

サブスペ重点研修

- 内科全分野における研修目標は内科ローテーション研修と同等
- 初期研修時の担当症例ならびに内科専攻医研修開始後の担当症例数を評価してローテーション設定し、サブスペ重点研修を可能とする

当院プログラムについて

ローテーション研修

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器		循環器		呼吸器		脳神経		糖尿病・代謝内分泌		腎臓・リウマチ膠原病	
	外来研修											
	救 急											
2年目	Subspecialty 研修											
	選択内科ローテーション・調整期間											
3年目	連携施設(特別連携施設)での研修 (原則12か月)											

- ・ 従来の内科研修方式。全科各2ヶ月(約8週)ずつローテーション
- ・ 連携施設研修に関しては、原則専攻医3年目に12ヶ月実施

当院プログラムについて

サブスペ重点研修

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	希望サブスペ			ローテーションA		ローテーションB		ローテーションC		希望サブスペ		
	外来研修											
	救 急											
2年目	Subspecialty 研修											
	選択内科ローテーション・調整期間											
3年目	連携施設(特別連携施設)での研修 (原則12か月)											

- 希望科を中心にローテーションを行う
- 初期研修時の担当症例ならびに内科専攻医研修開始後の担当症例数を評価して、サブスペ重点研修を開始する
- 連携施設研修に関しては、原則専攻医3年目に12ヶ月実施

総合内科外来=週1回の初診外来を担当

月	火	水	木	金
29	30	1	2	3
1 糖 中島 専攻医 3① 寺島	久賀（総内） 専攻医 3③ 永瀬	丸井 専攻医 3② 前田	6 循 原田憲 専攻医 4③ 竹田	20 循 原田一 専攻医 3① 寺島
6	7	8	9	10
5 消 児玉 専攻医 4⑥ 松島	久賀（総内） 専攻医 3③ 永瀬	2 呼 松尾 専攻医 3② 前田	8 呼 町田 専攻医 4④ 青木	3 腎・リ 藤田 専攻医 3① 寺島
13	14	15	16	17
9 腎・リ 滝澤 専攻医 4① 松井	久賀（総内） 専攻医 3③ 永瀬	丸井 専攻医 3② 前田	13 呼 松下 専攻医 4③ 竹田	4 神 亀山 専攻医 3① 寺島
20	21	22	23	24
10 神 梅村 専攻医 4⑤ 栗林	久賀（総内） 専攻医 3③ 永瀬	7 糖 今峰 専攻医 3② 前田	海の日	体育の日
27	28	29	30	31
18 腎・リ 村井 専攻医 4⑥ 松島	久賀（総内） 専攻医 3③ 永瀬	丸井 専攻医 3② 前田	14 腎・リ 國領 専攻医 4③ 竹田	11 消 宿輪 専攻医 3① 寺島

- 週一回総合診療外来(総合内科外来)を担当します。
- 適時、総合内科スタッフやチーフレジデント、サブチーフレジデントと振り返りを行い研鑽をつんでおります。

J-OSLER発表会を開催しております



J-OSLER 病歴要約発表会

内科専攻医による病歴要約の発表会です

The good physician treats the disease; the great physician treats the patient who has the disease.
— William Osler

日時：2026年9月30日 午後3時

場所：2階研修センター

内科専攻医：小島・小林・佐藤・岩佐・坂本

内科ワンチームで専攻医とともに学びましょう、
皆の参加をお待ちしています。

内科ワンチームでサポートしています

内科カンファ

- 内科全科で隔週にカンファ・勉強会を開催しております。



当院プログラムについて:診療実績

中部労災病院 診療科別診療実績(2025 年度実績)

診療科 \ 区 分	入院患者実数 (人/年度)	外来延患者数 (延人数/年度)
糖尿病・内分泌内科	424	18,865
呼吸器内科	1,414	10,818
腎臓内科	1,011	16,319
リウマチ・膠原病科	494	13,139
消化器内科	1,444	12,923
循環器内科	1,431	9,974
脳神経内科	918	12,144
総合内科(一般)	1,035	5,194

当院プログラムについて:連携・特別連携施設

	病院	病床数	内科系 診療科数	症例 指導医数	総合内科 専門医数	剖検数
基幹施設	中部ろうさい病院	400	11	19	16	2
連携施設	名古屋大学医学部附属病院	1,076	9	54	107	6
	愛知医科大学病院	900	11	77	54	12
	藤田医科大学病院	1,376	12	60	78	19
	名古屋医療センター	656	11	30	31	5
	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	818	7	27	26	14
	関東労災病院	610	10	28	25	7
	東名古屋病院	329	6	5	8	2
	総合上飯田第一病院	236	8	4	6	0
	名古屋セントラル病院	198	7	11	6	4
	旭労災病院	250	7	12	10	1
	豊田地域医療センター	190	5	6	4	0
	中東遠総合医療センター	500	8	11	11	6
	大同病院	404	13	22	17	16
	公立陶生病院	633	12	30	30	7
	知多半島総合医療センター	416	7	13	11	9
	知多半島りんくう病院	199	6	4	4	0
	久美愛厚生病院	300	3	6	7	2
	名古屋徳洲会総合病院	350	6	5	4	8
	諏訪中央病院	360	14	12	10	5
	大船中央病院	247	7	7	7	0
	横浜労災病院	650	10	25	29	8
	大阪公立大学医学部附属病院	965	12	90	75	11
	津島市民病院	352	6	7	7	1
	産業医科大学若松病院	150	5	2	6	0
	水戸共同病院	324	10	12	11	4
	一宮西病院	801	11	23	23	12
	明石医療センター	392	6	12	20	3
	天理よろづ相談所病院	687	7	37	33	10
	堺市立総合医療センター	474	10	32	28	13
	沖縄県立南部医療センター	444	9	19	17	1
特別連携施設 (地域密着型 病院)	臨港病院	142	1	—	—	—
	亀井内科・呼吸器科	—	2	1	1	—
	三つ葉在宅クリニック	—	1	—	—	—

連携施設・特別連携施設

• 連携施設

- 名古屋大学医学部附属病院
- 愛知医科大学病院
- 藤田保健衛生大学病院
- 名古屋医療センター
- 名古屋第一赤十字病院
- 大同病院
- 陶生病院
- 東名古屋病院
- 名古屋セントラル病院
- 総合上飯田第一病院
- 中東遠総合医療センター
- 半田市立半田病院
- 常滑市民病院
- 久美愛厚生病院
- 関東労災病院

- 名古屋徳洲会病院
- 旭労災病院
- 豊田地域医療センター
- 津島市民病院
- 水戸共同病院
- 一宮西病院
- 明石医療センター
- 天理よろづ相談所病院
- 堺市立総合医療センター
- 沖縄県立南部医療センター 他

• 特別連携施設

- 臨港病院
- 亀井内科・呼吸器科
- 三つ葉在宅クリニック

※施設の追加希望がございましたらお知らせ下さい、研修管理委員会にて対応致します。

屋根瓦式のエ育体制

スタッフ

専攻医の相談を受け、サポート
内科初診外来で、専攻医の指導を行う

専攻医

3-5年目
チーフレジデント制
全ての専攻医が研修医教育に携わる体制

初期研修医

専攻医とともに症例を担当できる体制
特に総合内科症例については、初期研修医が主体的に診療を行う

臨床情報へのアクセス

(令和8年4月1日現在)

【文献検索】

- メディカルオンライン(国内)
- MEDLINE with Full Text
- Science Direct(病院版)他
- Medical Finder

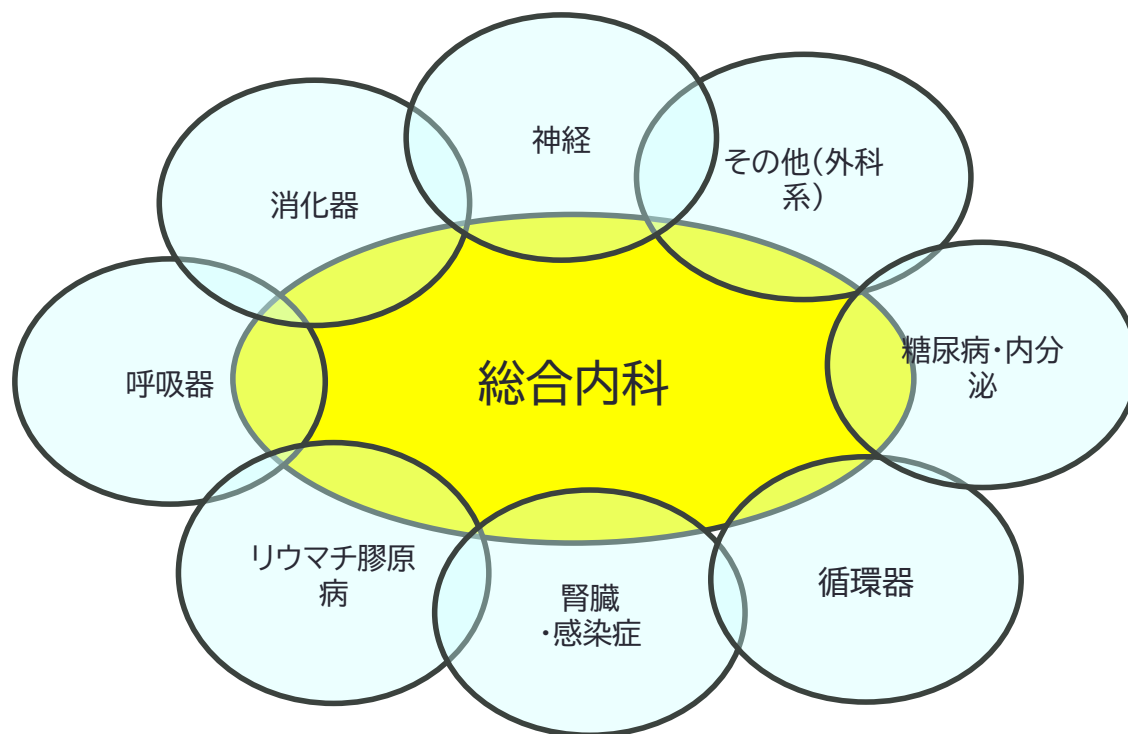
- 研修医図書予算配備
- 静かな環境で24Hオープン
- インターネットも完備

【臨床情報ツール】

- Up to Date(サイトライセンス)
- DynaMed
- Clinical Key
- Procedures
CONSULT(日本版)



内科ワンチームの教育



内科のみんなで成長しましょう

- 密度の高い内科研修を目指します
- 総合力を有し逆境に強い内科医を育成します。
- 是非当院プログラムを検討下さい